

やさしい日本語を知っていますか？



三重県には約62,000人の外国人が暮らしていて、その国籍・地域は100を超えます。話す言葉もさまざまなので、「外国人には外国語で話す」という考え方が正しいとは限りません。実は「簡単な日本語だったらわかる」という外国人も多いのです。

やさしい日本語は、相手にわかりやすく伝えるために、言葉づかいや表現を工夫した日本語のことです。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある方とのコミュニケーションにも役立つツールとして、行政、医療、教育、観光などさまざまな分野で取り組みが広がっています。

「やさしい日本語」はどんなときに使うの？

- **地震や台風などの災害時に**
災害が起きたとき、多言語で翻訳したり、通訳ができる人を探したりする時間がありません。急いで情報を伝えたいときに「やさしい日本語」を使えば、多くの人に知らせることができます。
- **日常生活で**
困っている外国人を見かけたときや何かを伝えたいときに、ゆっくりとわかりやすい日本語を話すことで必要な情報を伝えることができます。

「やさしい日本語」への言い換え例

登校	→	<u>学校に行く</u>	キャンセルする	→	<u>やめる</u>
両親	→	<u>お父さんとお母さん</u>	それはできやん	→	<u>それはできません</u>

「登校」「両親」のような漢語は、漢字文化のない国の人にはむずかしいです。カタカナ語や方言も慣れていないとわかりません。いつも使っている言葉を言い換えることで、多くの人に伝わりやすくなります。

「やさしい日本語」には正解がありません

何が伝わりやすいかは相手の出身地や日本語能力、日本での生活経験、また、年齢、性別、障がいの有無などによってそれぞれ違います。相手を思いやり、『わかりやすい言葉』と『やさしい気持ち』でコミュニケーションをとりましょう。

「やさしい日本語」のポイントとは？

裏面へ続く



「やさしい日本語」を話すときのポイント



① わかりやすく話す

はっきり最後まで言い切る、あいまいな言い方をしない

『その日はちょっと……。行けたら行くね。』

→ すみません、その日は行けません。

1つの情報を1文で短く伝える

『津城跡は広くて、公園もあって、秋は紅葉が色づいていて、とてもきれいです。』

→ 津城跡は広いです。公園があります。秋は葉っぱの色が変わります。とてもきれいです。

② 簡単な言葉を使う

敬語は控えめにして、丁寧語の「です」「ます」を使う

『ご本人様確認ができるものをお持ちですか？』

→ 在留カードや車の免許証はありますか？

漢語などむずかしい言葉は、簡単な言葉にする

『大型の台風が接近しています』

→ 大きな台風が近づいています

③ 思いやりの気持ちを大切にする

- 一度にたくさん説明しないで、ゆっくり話す
- 子ども扱いするような話し方をしない
- 写真や実物を見せて、わかりやすく伝える
- 相手が安心して話せるように、笑顔で接する

誰とでも、もっと簡単にコミュニケーションをとれるように

はじめませんか、「やさしい日本語」



問い合わせ先

三重県 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課
電話番号 059-222-5974

「やさしい日本語」を手軽に学べる
ガイドラインを公開しています！

